

YMCA NEWS 金沢青年

No.21 (2020 年 1 月号)

発行所: 金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見タウンハイツ 201

TEL/FAX (076) 255-7782

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

2020 年の出発に当たって

金沢 YMCA 理事長 朝倉 秀之

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、それぞれ目標を立てて歩き出していることでしょう。金沢 YMCA の将来のことは、いつも気に掛かっています。たくさんの人々の支えがあって、成り立っている金沢 YMCA です。

YMCA そのものはご承知のように、青少年の健全な人格が育まれるようにとロンドンで誕生した団体です。1844 年 6 月にロンドンで始まり、日本の会員数は約 14 万人、主要都市の YMCA は 35 存在し、拠点としては 200 以上あります。この金沢 YMCA も主要都市の YMCA に入っているのです。

私は英語の勉強を続けています。最近、面白い英語の単語を覚えました。サイブラリアンという単語です。聞いたことがありますか。サイバー(cyber)とライブラリアン(librarian)の複合語です。インターネット上にある情報を、質問してくる利用者のために探し、収集し、活用するのを助けてくれる人のことで、新しい図書館員を連想すれば良いのかもしれません。私が持っている辞書には載っていませんでしたが、実際には 1990 年代の初め頃から使われていたようで、私が知らなかっただけです。このように職業もいろいろ変わっていくということでしょう。

17 世紀に絶滅した「ドードー」という飛べない鳥についても、その表現が英語にあります。これは知っていました。“go the way of the dodo”(絶滅する、廃れる、時代遅れになる)という表現です。金沢 YMCA がそのような大型の飛べない鳥のごとく時代遅れになってしまうようにするのが、私たちの務めです。それが 2020 年の出発に当たって思うことです。



金沢 YMCA わいわい農園体験 2019～計画の経緯と一年を振り返って～

金沢 YMCA 評議員・わいわい農園委員会委員 北 肇夫

【計画の立案と概要】

この事業は、2013 年 5 月 30 日開催の「金沢 YMCA 定期会員総会」の席上において企画書が承認され、北陸学院三小牛キャンパス農園で実施することとなった。この企画書(ご案内のリーフレット)によれば、会員相互の親睦を図ることを目的に、委員会制で運営し、その会の趣旨に賛同した方の年会費で実施された。また、栽培方針は、有機農法・少農薬とし、根菜類(サツマイモ・サトイモ・ダイコン類など)のほかエダマメやネギなどや切り花用の草花(マリーゴールドや百日草など)を植え付けることとなった。

【事業の展開】

当初の畝は、畝幅 1m、奥行き 10m で、畝数 2 本

であったが、2019 年度の畝数は 11 本と 5 倍強となった。獣害対策として「簡易フェンスの敷設(2016 年度)」と「電気柵の設置(2017 年度)」と「防鳥テープの設置(2018 年度)」により被害を軽減できた。

【この1年を振り返って】

本年度から毎週火曜日の早朝を「ワークデー」として、オーナー制の方と共同作業を実施した。

今シーズンの特質事項は、7～8 月の異常早魃による灌水作業が続いたこと。なお、ムカデの噛傷事故があったが、迅速な対処で大事にならなかった。また、サツマイモ(オーナー制の分区園)でモグラの被害が初めて出現し、今後、対策法を検討する必要性が生じた。

今シーズン作付けの作物は、サトイモ(越前大野・伝燈寺)、加賀野菜の金時草や二塚カラシナ、エダマメなど、草花では、キク類(小菊・エゾ菊・ルリ菊)、ジニア(百日草)、ヒマワリ、コスモスのほか、ハーブ(香草)としてルッコラが挙げられる。



コスモと万寿菊

(2018 年 10 月 23 日撮影)

また、年間作業の延べ人数 128 名で、1 回当たりの実働時間 1~3 時間、実働日数 63 日であった。年間実働作業の割合は、①耕耘・畝建て作業 15%、②播種・植付け・間引き作業 20%、③除草作業 20%、④灌水作業 20%、⑤土寄せ作業 5%、⑥収穫作業 10%、⑦その他として準備作業(タネイモの芽出し)・施肥・敷き藁・点検作業など 10%であった。

本事業は、特別会計予算で登録会員の会費、北陸学院大学福江ゼミ(オーナー制参加)の使用料、オーナー制の参加者による収入と種苗購入費、資材購入費、畑畝耕作費の支出があり、若干の黒字となった。

福江ゼミでは、今年度の栽培活動に手応えがあり、栽培や収穫を通して交流が図られたとのことである。



2019 年 5 月 28 日 看板を新設



2019 年 6 月 4 日 エダマメの防鳥ネット設置作業



2019 年 10 月 1 日 左側からサトイモ、ダイコン、カブ、オクラ



2019 年 11 月 23 日 サトイモの収穫・分配作業

【今後の課題と展望】

本農園体験が、会員の皆さんと共に楽しんでいただただけでなく、学童や教諭、大学生・オーナー制の方との交流の場として発展・活性化することを願っている。一方、福江ゼミでは、来年度の栽培計画に意欲を示し、学生有志が中心となったプロジェクトチームを立ち上げ、小学校や幼稚園を巻き込んだ農園活動を検討している。なお会員からは収穫物の活用方法として地域奉仕に繋がるようにとの提案があり、この提案については次年度に向けての課題としたい。

金沢ワイズメンズクラブ・メネット会主催 2019 年度「芋煮会」の報告

金沢ワイズメンズクラブ メネット会 会長 数澤 淑子

金沢ワイズメンズクラブでは毎年、メネット会主催で芋煮会を開催しています。15 年前、犀川上流の河原で、メンや当時の YMCA 職員が河原の石でかまどを作り、流木を拾い集めて燃料とし、青空の下でせせらぎを聴きながら、まことに野趣豊かな芋煮会をしたのが起源です。様々な変遷を経て、現在はかまどなど設備の整った内川スポーツ広場で開催しています。

当初は YMCA の子どもたちを招待するのが目的の一つでしたが、昨今は子どもたちがなかなか集まらず、気が付けば大人ばかり、寂しい限りでした。折しも昨夏 JC(金沢青年会議所)のイベント「ソトゴハン」の協力依頼に応じて、金沢 YMCA と「シングルマザーの会」が協力団体として名を連ね、金沢 YMCA 関係としてクラブメン・メネットも参加協力しました。その

時の参加者親子に「芋煮会」(10 月 26 日開催)の案内チラシを配布したところ、10 数組の親子の応募があり、参加者 36 名という、近年になく賑やかで楽しい芋煮会となりました。



若いリーダーと共に遊ぶ子どもたち

お母さんたちも積極的に手慣れた様子で準備に加わり、ネギを切ったり、飯ごうのお米を研いだり、臨機応変に手伝って下さいました。かまど 3 基を使い、大鍋二つとダッチオーブンで美味しい芋煮が出来上がりました。広々とした芝生にビニールシートを広げて、思い思いのグループでおしゃべりも弾み、お代わりも自由にしていただき、楽しいひと時を過ごしました。芋煮鍋の残り火でホッカホカに焼けた五郎島金時の焼き芋も、芋煮でお腹いっぱいのはずなのに、美味しそうにはおぼる子どもたちは、大学・高校生のリーダーとボール遊びやシャボン玉遊び、二人乗り自転

車乗りと思いつき楽しんでいました。「また来年も来たい！」という、うれしい声に疲れも吹っ飛びました。



芋煮などを食べる参加者たち



炊事場前での記念集合写真

これをきっかけにワイズメンの地域への奉仕活動が活発になり、ひいては YMCA の活動へと繋がればと願っています。

2019 年度ユニセフ街頭募金の報告

金沢 YMCA 理事・青团連理事 幸正 一誠

2019 年 12 月 21 日(土)午後、金沢市青少年団体連絡協議会(青团連)主唱の「第 41 回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金～すべての子どもたちに生きるチャンス～」に金沢 YMCA が参加した。

この日の天候は、北陸の冬期を代表する変わりやすい天候で、薄日が差すと思えば小雨に見舞われるという具合であったが、この時期には珍しく気温は穏やかであった。



参加者は、金沢 YMCA から朝倉理事長、平口理事と矢澤さん親子 3 名(美佐子・このみ・とわ)、金沢ワイズメンズクラブから山内会長、伊藤メン、数澤メネット、北メン・メネット、幸正メンの計 11 名であった。例年のごとく堅町商店街入口付近にて募金呼び掛け。 “若者の街・ファッションの街”での募金活動により募金額 10,448 円と、5 桁台のご厚志が集まった。青团

連関係の集計結果は、37 団体、958 名もの参加を得ながら 997,576 円と、残念ながら 7 桁に一步届かなかった。



募金活動ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。



【金沢 YMCA 理事会・評議員会開催】

2019 年 11 月 8 日
(金)18:00～20:00、金沢市
長土堀青少年交流センター
3 階学習室 1 にて金沢
YMCA 理事会・評議員会が
開催されました。出席者は理
事 4 名、評議員 5 名、監事 1
名、以上 10 名。



会議では、2019 年度の評議員・理事・監事について以下の人事が確認された。

理事長：朝倉秀之、常務理事：山内ミハル、理事：幸正一誠・澁谷洋太郎・平口哲夫、評議員：伊藤仁信・井川英二(新任)・数澤輝夫・北肇夫、田口昭典・西 信之・八反順一郎・藤井辰男・三谷信三・宮本和幸(新任)、監事：竹中丈晴(新任)・山野 晋。

また、金沢 YMCA の現状と将来について、財務・行事・会議などの観点から多岐にわたって話し合われた。

【青団連 2020 年度の主な行事日程】

金沢 YMCA が団体加盟している金沢市青少年団体連絡協議会(通称：青団連)では、第 4 回理事会が 2020 年 1 月 24 日(金)に開催され、「2020 年度の主な行事日程」が決定されたので、ご報告するとともに皆様のご協力をお願いします。

- ・2020 年 5 月 24 日(日)、春のクリーンキャンペーン
- ・2020 年 10 月 11 日(日)、長土堀「絆」交流フェスティバル
- ・2020 年 10 月 18 日(日)、秋のクリーンキャンペーン(市町会連合会が主催)
- ・2020 年 12 月 20 日(日)、ユニセフ街頭募金(全国一斉行動日)

【YMCA ロゴについて】

YMCA ブランド 日本の YMCA は 1880 年に東京で始まり、多様な分野でパイオニアとしての働きを全国各地で展開してきた。金沢 YMCA が属する日本 YMCA 同盟は、2017 年、YMCA ブランドコンセプトを取り決め、その旗印として新しいロゴ・スローガンを掲げている。

YMCA ヴィジョン ポジティブネットのある豊かな社会を創る。ポジティブネットとは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのことである。

YMCA ヴァリュー したいことがみつき、誰かとつながり、私もよくなる、かけがえのない場所。

YMCA パーソナリティ 心をひらき、わかち合い、前向きで、まわりをひきつける魅力を持つ。

YMCA ブランドロゴ 鳥が飛び立とうとする瞬間の姿を、アルファベットの Y が想起される形に重ね合わせ、右上の赤い逆三角形には、YMCA 正章に記された「全人」の精神と、YMCA が約束するブランド価値「みつかる、つながる、よくなる」の両方が込められている。また、曲線と赤い色によって、生命感と、希望ある豊かな社会を実現して行こうという YMCA のポジティブな姿勢を示している。愛称“ポジティブ Y”。

【金沢 YMCA の会員・会費・寄付】

会員：本会の目的に賛同する人は誰でも入会資格があります。入会申込書に必要事項を記し、会費を納入すれば会員になれます。

会費：維持会員は年会費 12,000 円、通常会員は年会費 6,000 円、学生会員は年会費 2,000 円、少年会員(18 歳未満)は年会費 1,000 円。

会費納入方法：下記のいずれかの方法で。

- ・郵便振替 加入者名：金沢 YMCA
口座番号：00790-8-56852
- ・銀行の指定口座に振り込む
北國銀行 香林坊支店 104 普通預金
口座番号：428491
口座名義：一般財団法人金沢基督教青年会
理事長 朝倉秀之
- ・現金で支払う

寄付：会費と同様の方法でお寄せください。

★編集後記★

今回のニューズレターでは、北陸学院大学の学生たちも参加した「わいわい農園体験」、若い親とその子どもたちを招いての「芋煮会」、親子も参加した「ユニセフ街頭募金」という三記事を掲載しました。今後、こうした活動の積み重ねにより、YMCA(Young Men's Christian Association)の名にふさわしく、多くの青少年が集う会になるよう願っています。また、そのためにも、ワイズメンズクラブのハンドブックに掲げられている第一の目的、「YMCA のためのサービスクラブとして活動する」を思い起こし、その活動で培われたノウハウを YMCA 活動に生かしたいと考えております。このレターの編集も、その一環です。(H・T)

YMCA NEWS 金沢青年 No.21

編集委員：朝倉秀之・山内ミハル・平口哲夫

sophiruka@yahoo.co.jp (平口)

発行者・発行日：金沢 YMCA・2020 年 1 月 31 日

発行所：金沢 YMCA 事務所

〒920-0998 金沢市里見町 44-1-201

TEL/FAX 076-255-7782

asahide0927@gmail.com (朝倉)

